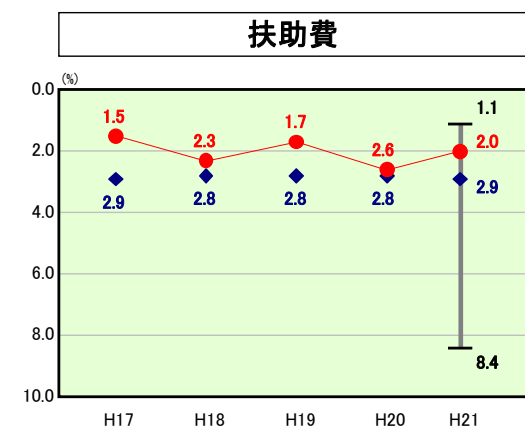
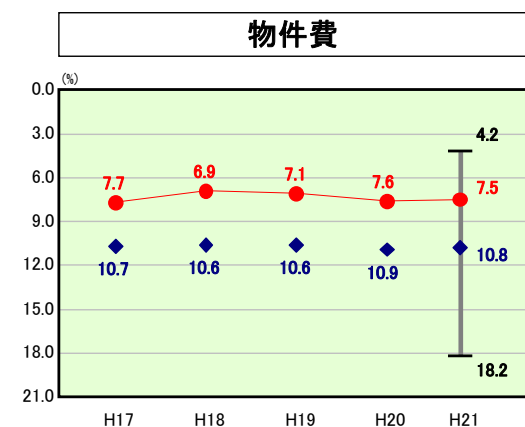
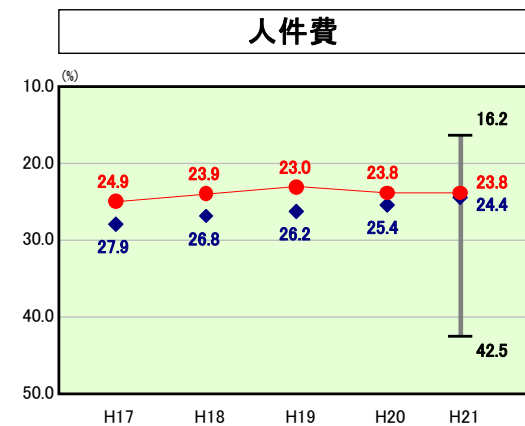
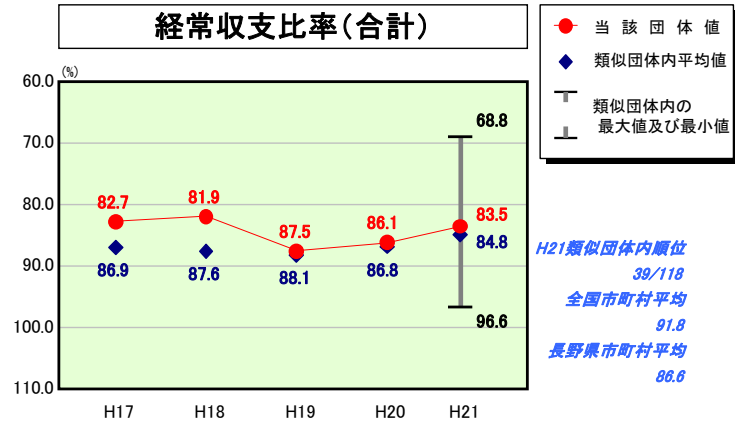
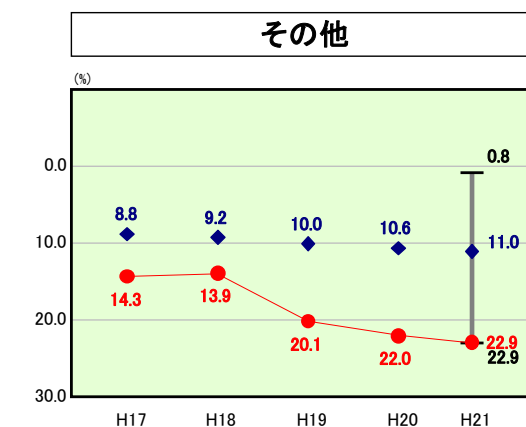
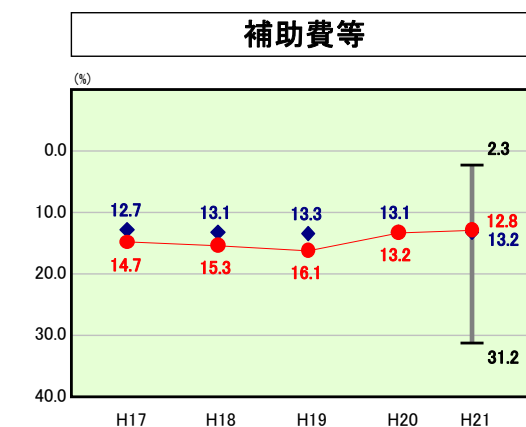
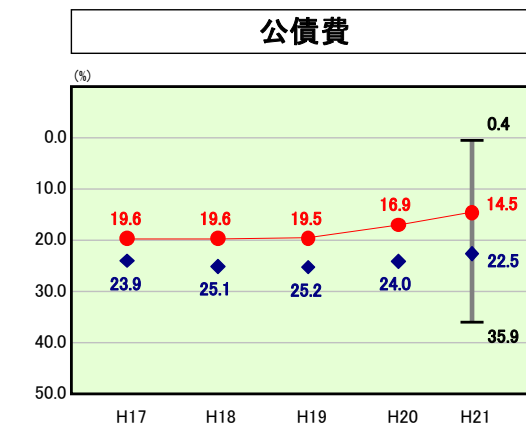
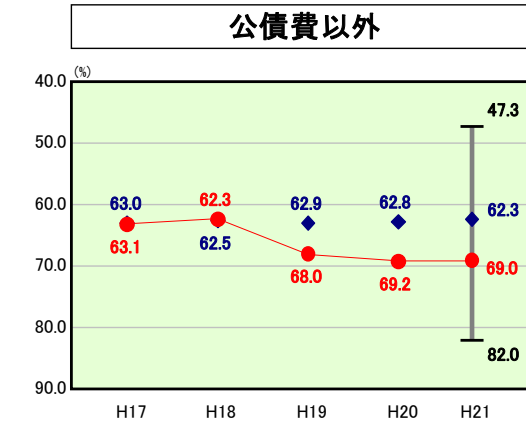
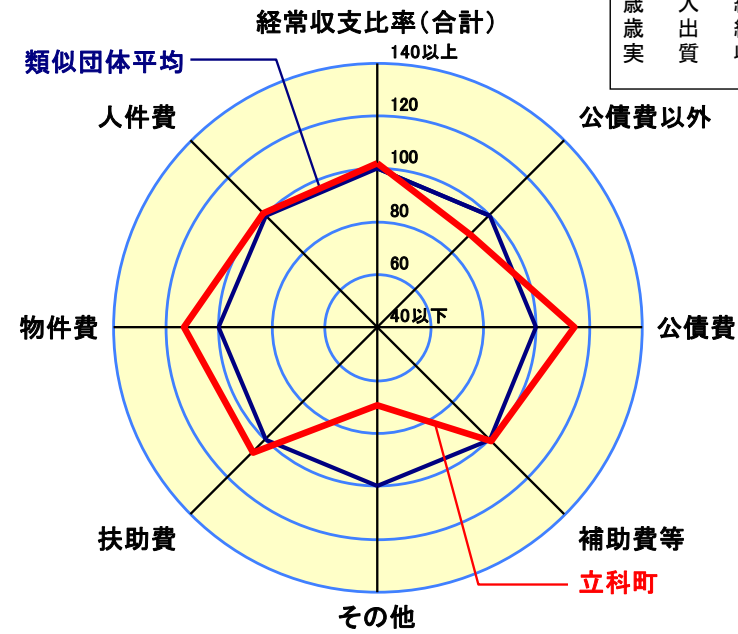


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



| | |
|--------|-----------------------|
| 人口 | 8,030人(H22.3.31現在) |
| 面積 | 66.82 km ² |
| 標準財政規模 | 2,883,658千円 |
| 歳入総額 | 4,565,740千円 |
| 歳出総額 | 4,209,985千円 |
| 実質収支 | 294,165千円 |



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【経常収支比率】

類似団体の平均を下回っているが、今後は少子高齢化による扶助費の増等により経常経費の増が見込まれ、また景気後退の影響で税収増が見込めないことから、経常経費の歳出削減抑制を図る。

【人件費】

事務事業の見直しや効率化を図るなど定員の計画的な削減等を今後とも努めていく。

【物件費】

類似団体の平均を3.3%下回っているが、今後も事務事業の見直しを進め、さらなる行財政運営の効率化を進める。

【扶助費】

類似団体の平均を下回っているが、少子高齢化による扶助費の増加が見込まれるため、今後も扶助制度の適正な取り組みに努める。

【公債費】

類似団体の平均を8.0%下回っているのは、起債償還のピークを過ぎたことによるものと、繰上償還を行い、地方債の抑制を図ってきたためである。今後も新規地方債の抑制に努め、財政の健全化を図る。

【その他】

その他に係る経常収支比率が類似団体の平均を大きく上回っているのは、昨年度に引き続き下水道事業の繰上償還分と諏訪湖流域下水道へのつなぎこみに関する事業の繰出が影響したことによる。

【普通建設事業】

普通建設事業費の人口1人当たり決算額が昨年度決算と比較して49.5%増加しましたが、これは国の経済対策による交付金を活用し町営住宅建設事業(子育て支援住宅)、児童館増築事業等の大型事業を行なったためによるものです。今後も投資的経費については事業効果や緊急性、必要性を十分検討して財政負担とならないよう計画的に進めていきます。